工事費等内訳書（記載例）

年 月 日

愛知中部水道企業団

企業長

殿

住 所

1 案件名
2 工事又は納入場所 } 正確に入力してください。

1 案件名

2 工事又は納入場所

工事（委託）価格は、カンマ（ , ）の位置に注意してください。

工事（委託）価格

金 〇〇,〇〇〇,〇〇〇 円也 （消費税及び地方消費税を含まない。）

（内訳）

費 目	数 量			
本工事費				
直接工事費				
1. 配管工事費				
2. 既設管撤去工事				
3. 仮設配管工事費				
4. 給水切替工事費	1			
5. 試掘工事	1			
6. 構造物築造費	1			
7. 路面復旧費	1			
8. 付帯工事費	1			
9. 仮設工事費	1			
10. スクラップ控除費	1			
11. 投棄料	1			
12. 交通管理費	1			
計				
共通仮設費	1	式		
純工事費				XXX
現場管理費	1	式		XXX
工事原価				XXX
一般管理費	1	式		XXX
工事費計				XXX

費目の欄には、本工事費内訳書及び直接工事費内訳書の費目に基づいてご記入ください。

対象となる費目がない場合、金額(円)欄には、「0」とご記入ください。

なお、「1. 配管工事費」は、直接工事費内訳書の費目各**新設配管工事・排水弁部・消火栓部**(工種の資材費・土工事費・布設接合費)をまとめてご記入ください。

「4. 給水切替工事費」は、**メータ廻り改良工事**を含めて(工種の資材費・土工事費・布設接合費)記入してください。

「6. 構造物築造費」は、**明細表の内容**に基づいてご記入ください。

また、必要に応じて費目の欄に加筆してください。

(注)1 工事（委託）価格は、入札金額と一致させてください。

2 費目の欄には、建設工事にあつては、直接工事費の内訳及び間接経費（共通仮設費・現場管理費・一般管理費等）の内訳を明らかにしてください。

3 この様式により難しい場合は、適宜この様式に準じて作成してください。

工事費等内訳書（記載例）

年 月 日

愛知中部水道企業団

企業長 殿

住 所
商号又は名
称
代表者氏名

1 案件名

2 工事又は納入場所

工事（委託）価格	金	円也	（消費税及び地方消費税を含まない。）
----------	---	----	--------------------

（内訳）

費 目	数 量	単 位	金 額（円）	備 考
本工事費				
機器単体費	1	式	XXX	
直接工事費			XXX	
投棄料	1	式		
材料費	1	式		
労務費	1	式		
機械経費	1	式		
仮設費				
間接工事費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式	XXX	
据付間接費	1	式	XXX	
据付工事原価			XXX	
設計技術費	1	式	XXX	
工事原価			XXX	
一般管理費	1	式	XXX	
工事費計			XXX	

費目の欄には、本工事費にある**費目**及び**名称/規格**に基づいてご記入ください。

また、必要に応じて費目の欄に加筆してください。

(注)1 工事（委託）価格は、入札金額と一致させてください。
2 費目の欄には、建設工事にあつては、直接工事費の内訳及び間接経費（共通仮設費・現場管理費・一般管理費等）の内訳を明らかにしてください。
3 この様式により難しい場合は、適宜この様式に準じて作成してください。

工事費等内訳書（記載例）

年 月 日

愛知中部水道企業団

企業長 殿

住 所
商号又は名
称
代表者氏名

1 案件名

2 工事又は納入場所

工事（委託）価格	金	円也	（消費税及び地方消費税を含まない。）
----------	---	----	--------------------

（内訳）

費 目	数 量	単 位	金 額（円）	備 考
本工事費				
直接工事費				
建築工事	1	式		<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>費目の欄には、本工事費にある名称/規格に基づいてご記入ください。</p> <p>また、必要に応じて費目の欄に加筆してください。</p> </div>
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				
共通仮設費	1	式		
純工事費				
現場管理費	1	式	XXX	
工事原価				
一般管理費	1	式	XXX	
工事費計			XXX	

(注)1 工事（委託）価格は、入札金額と一致させてください。
 2 費目の欄には、建設工事にあつては、直接工事費の内訳及び間接経費（共通仮設費・現場管理費・一般管理費等）の内訳を明らかにしてください。
 3 この様式により難しい場合は、適宜この様式に準じて作成してください。